

1. 申請者情報

Table with 5 columns: 都道府県名, 市区町村名, 地方公共団体コード, 担当部署名, 担当者名, etc.

2. 交付対象事業の名称等

Table with 2 main columns: 単独領域, 交付対象事業の名称. Includes sub-tables for 事業分野 and 実施期間.

< 変更状況確認欄 > ※軽微変更報告の際に記載

Table with 2 columns: 最終交付決定日, 軽微変更報告日

Summary table with 8 columns: No., 都道府県名, 市区町村名, 地方公共団体コード, [ソフト事業] 対象事業経費, etc.

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)
【背景】
・豊田市の第9次豊田市総合計画は、2050年を展望した普遍的なまちづくりの方向性を示す「ミライ構想」とミライ構想を実現させるため、2025年4月からの5年間で特に注力する取組の方向性を示す「ミライ実現戦略2030」によって構成している。ミライ実現戦略2030では、産業分野において「産業中核都市として深化し続ける」を取組目標として掲げ、必要な取組として、(1)新たな産業が創出されている(2)市内事業者が社会の変化に適切に対応していることが必要と整理している。それぞれの取組方針として、(1)成長産業の誘致、新事業展開の促進、起業創業支援等、事業者のチャレンジを促進するとともに、(2)DX化、事業転換、販路拡大、人材育成等、経営力の強化による持続可能性の向上に向けた取組を実施し、「産業都市としての深化」を目指すとしている。
・その上で具体的なデータを確認すると、本市の市内総生産における製造業の割合は72.4%を占め、国内総生産に占める製造業の割合19.7%に比べて著しく高い比率となっている(経済センサス活動調査(2021年))。併せて、本市の製造業における自動車関連産業の占める割合は、事業所数で全体の23.0%、従業員数で77.3%、製造品出荷額等で93.3%と極めて高くなっている(経済構造実態調査製造業事業所調査(2023年))。また、本市の自動車関連産業の工場の約8割が従業員数300人未満の中小規模の工場であることから、本市基幹産業の自動車関連産業は、完成車メーカーを頂点とした、グループ企業、様々な規模のサプライヤーからなる裾野の広い垂直統合型のピラミッド構造で成立している。
・本市の製造品出荷額は2017年の1兆4590億円に対し、2023年は1兆6810億円と増加している。(豊田市の工業、製造業事業所調査(2017~2023))
・製造品出荷額や従業員数を見ると、順調に産業が成長していると見ることができ一方で、中国市場ならびに欧州市場を中心に新エネルギー車(NEV)であるバッテリー式電気自動車(BEV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)の普及が進んでいる。中国市場では、2020年から2023年の3年間でBEV、PHEVの年間販売台数がそれぞれ約6倍(92万台→540万台)、約12倍(22万台→270万台)、欧州市場でも同期間でBEV、PHEVの年間販売台数がそれぞれ約3倍(75万台→220万台)、1.7倍(63万台→110万台)となっている(IEA Global EV Outlook 2024)。
・今後、BEVの普及が進むことで、2035年には世界市場において、BEVの年間販売台数が、5,100万台、PHEVの年間販売台数が550万台になると見込まれている。しかし、2024年になってから、欧州市場の新車販売台数におけるBEVの割合(シェア)は、前年に比べて減少傾向となっている。2024年8月におけるBEVのシェアは前年の21.0%から14.4%へ減少し、PHEVも7.4%から7.1%と減少している。一方、ハイブリッド車(HEV)のシェアは24.0%から31.3%と増加しており、市場形成の初期段階におけるBEVの需要が一巡し、本格的な普及の前の踊り場を迎えていると考えられ、その動向を注視していくことが求められる。
・先行きが不透明かつ変化の激しい現代の状況において、本市産業の持続的な発展を実現するには、総合計画に記載のとおり、市内事業者の競争力強化、新事業展開などを促すための新規事業開発や、販路拡大などに向けた支援、スタートアップ等と市内企業との連携・協業によるオープンイノベーションの支援や本市産業を牽引する新たなプレイヤー(新たな価値の創造や起業を志す人々)を育成・支援していくこと等、幅広い支援が求められる。
【市組織・施設の概要】
「ものづくり創造拠点SENTAN」(SENTAN・・・閃鏡、千鍛、先端の3つの意味からとった愛称)
激しい環境変化の渦中にある市内ものづくり企業の持続的な発展を支援することを目的に、主に、ものづくり中小企業や、創業を志すものづくり団体に対して、「新たな事業展開」、「イノベーション創出」、「ものづくり人材育成」を支援する施設として市直営で平成29年9月に設立。豊田市名誉市民 豊田英二様のご遺族による寄附金を活用しており、寄附者の「ものづくり人材の育成に役立てて欲しい」という意向も反映している。
・SENTANには3つの組織が入居している。
①「もとやイノベーションセンター」
豊田商工会議所・豊田高専・豊田市の3者連携による、ものづくり企業の技術・経営課題の解決等を支援する機関。中小企業診断士であるコーディネーターが課題を把握し、幅広いネットワークにより解決策を提供している。また、中小企業の新事業展開へ向けた各種セミナーも実施する。
②「豊田市産業部 次世代産業課」
市の中小企業支援担当部署。中小企業の新事業展開・販路開拓、人材育成支援事業等を実施する。
③「豊田市民生生活躍部 ものづくりサポートセンター」
小学校の授業での「ものづくり教育プログラム」の実施や、中・高生を対象とした科学・ものづくり講座の実施など、子どもたちのものづくり学習を支援する。
・3つの組織の連携と、企業に新たな価値を生み出し、アイデアを形にできるSENTANという場の活用により、ものづくり企業や団体の新たな事業展開やイノベーションの創出支援、子どもから大人まで切れ目のないものづくり人材育成を効果的かつ効率的に行っている。
【目指す将来像】
本事業により、ものづくり創造拠点SENTANをHUBとして、新たな価値の創造や起業を志す人々が共に学び、交流・連携することで、イノベーションが創出され続ける仕組み(SENTANエコシステム)を構築し、基幹産業としての自動車産業の発展と合わせ、市内ものづくり企業の技術力を活かした新事業展開やオープンイノベーションによって成長し、本市産業の持続的な発展を目指す。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

背景でも記載したように、豊田市は基幹産業である自動車製造業を中心とした工業都市である。本市の事業所の開業率、廃業率は全国他都市、県内他都市と比較していずれも低く、成熟した産業構造であるといえる一方で、垂直統合型の産業構造によりQCDC(品質、コスト、納期)を追求してきた経緯から、新事業や起業家が生まれ続ける土壌ではない。目指す将来像を見据えた際に、以下の課題を解決する必要がある。

【課題①】新規事業創出に取り組む企業数の増加

新たな事業展開に取り組んでいるものづくり中小企業の割合は2023年に30.2%、2024年に32.8%であった。(ものづくり中小企業基礎調査(市独自アンケート調査))割合は微増しているものの、伸び悩みを見せている。2023年から取組を実施している新規事業創出支援事業「SPARK」では2023年に8社、2024年に4社を選定し、自社開発による新規事業創出の伴走支援を実施している。2024年の伴走支援企業選定に際し、事業のキックオフセミナー等に経営層が参加した企業も多く、新規事業創出に取り組む関心の高さが伺える一方、事業応募に至らなかった企業へのヒアリングでは、「新規事業への経営層の理解が得られない」、「事業参加の社内稟議を通すためのハードルが高い」といった、担当者レベルからのボトムアップによる新規事業創出の難しさを訴える意見もあり、企業ごとの新規事業創出への温度差が大きくなっている。

【課題②】産業の新陳代謝の低下

事業所の開業率、廃業率(※全産業：経済センサス活動調査(2021年))
【豊田市】開業率:3.7% 廃業率:4.9%(※製造業 開業率:2.1% 廃業率:3.5%)
【岡崎市】開業率:3.8% 廃業率:5.0%
【名古屋】開業率:5.5% 廃業率:6.0%
【東京特別区】開業率:6.8% 廃業率:6.7%

全業種と比較した際、開業率、廃業率ともに県内他都市等と比較して低くなっている。特に開業率に関して、製造業を中心とした産業構造も要因の一つである一方で、スタートアップやベンチャーといった新興企業が創出される土壌が整備されていないことも要因となっている。新しいイノベーションの創出には、起業と廃業による産業の新陳代謝が必要となるが、本市ではそういった新陳代謝が起こりにくい産業構造になっていると言える。愛知県では2018年に「あいちスタートアップ戦略」を発表するとともに、2024年10月には「STATION Ai」を開業するなど、スタートアップ創出・オープンイノベーションの推進に向けた動きが加速している。こうした潮流において、本市の経済をより活性化していくためには、インバウトのあるスタートアップの創出や第二創業、企業内起業といった動きを活発化する取組が求められる。

【課題③】他社との連携、オープンイノベーションへの障壁

市内製造業の多くはサプライヤーとしてピラミッドを形成しており、販路を開拓するような営業活動に積極的でない場合が多い。そのため、他社との連携やコミュニティを形成して情報交換をするといった文化に乏しい。2024年にSENTANを活用する企業23社に対し、オープンイノベーションにかかる小規模なアンケートを実施したところ、「他企業との協業を実施したことはあるか」という問いに対し、5社が「実施したことがある」と回答。さらにそのうちスタートアップ・ベンチャーとの協業は0社であった。サンプル数が少ないため統計的なデータではないが、行政の事業に積極的に参加し、自社事業推進に精力的な企業からの回答であり、オープンイノベーションへのハードルの高さを表している。一方で、「スタートアップ・ベンチャー企業という言葉について知っているか」という問いに対し、18社が知っていると回答した。また、「スタートアップ・ベンチャー企業との協業について、知りたいこと」という問いに対し、スタートアップ・ベンチャーの特性や連携のメリット、連携するうえで注意すること等が上げられており、マッチングや交流機会の提供により、オープンイノベーション創出に向けた動きの促進を図ることが求められる。

C. 交付対象事業の概要

(交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのかが分かるように記載すること。)

産業の持続的発展のため、新たな価値の創造や起業を志す人々を「新たなプレイヤー」と設定。○オープンイノベーション・新規事業創出、○新たなプレイヤーの創出、○コミュニティ形成と機運醸成 の3つの視点から支援を実施する。また、以下の取組促進のためSTATION Aiと連携を深め、STATION Ai事務局及びパートナー企業との連携により、積極的な事業促進を図る。

○オープンイノベーション・新規事業創出支援(課題①)

・新規事業創出支援事業「SPARK」

新たな収益の構築を目指す市内企業に向けて、社内新規事業開発やオープンイノベーションによる新規事業開発を支援する。新規事業開発に向けたキックオフセミナー、新規事業の作り方を学ぶ事業創出アカデミーを経て、実際に新規事業に取り組む企業を選定し、伴走支援を実施。本事業をきっかけとした事業化を目指す。加えて、経営層向けセミナーを実施することで、課題であった企業の新規事業開発に向けた体制構築を支援し、積極的な参加を促す。2024年度までは社内新規事業開発支援のみであったが、オープンイノベーションコースを新たに新設。スタートアップ等との連携により新たなイノベーションの創出を目指す。

・スタートアップ支援コーディネーターによる相談支援及びマッチング実施

豊田市、豊田高等専門学校、豊田商工会議所の3社連携で運営する「とよたイノベーションセンター」において、「スタートアップ支援コーディネーター」を設置。中小製造業での勤務経験や、自身でのスタートアップ起業、メンター経験のある人材を採用予定。STATION Ai及び近隣のインキュベーション施設等とSENTANを繋ぎ、相談支援、企業間のマッチングを実施する。

・(仮称)スタートアップ・オープンイノベーション支援補助金

市内で起業を目指すスタートアップの事業化や、オープンイノベーション等新規事業に取り組む市内企業に対し、事業費の一部を補助する。

○新たなプレイヤーの創出(課題②)

・アクセラレータープログラムの実施

スタートアップ等の新たなプレイヤーの事業計画策定を支援するプログラムを提供し、VC等と資金調達のディスカッションができる状態を目標として、セミナーやワークショップ、個別メンタリングによる伴走支援を実施する。起業を目指す個人や団体、学生をターゲットとし、特に市内工業大学、高等専門学校と連携し、新たなプレイヤーとして活躍する人材の掘り起こしを実施することで、起業を目指す人材の創出を目指す。

・スタートアップ支援コーディネーターによる相談支援

先述したスタートアップ支援コーディネーターによる相談支援を実施し、アイデアの壁打ちや情報交換によるビジネスモデルのブラッシュアップを図る。相談支援の中で他企業との連携や市事業への流入を促進し、事業全体の活性化を目指す。

・ビジネスコンテスト

スタートアップ等の新たなプレイヤーのビジネスモデルを発表し、優劣をつけるとともに、優勝者等にはインセンティブを与え、事業の飛躍及び販路の拡大を目指す。

○コミュニティ形成支援と機運醸成(課題③)

・(仮称)SENTAN定期イベント実施事業

機運を高めるセミナーや、アイデアを披露し、ブラッシュアップするピッチイベントなど、SENTANがHUBとなり、新たなプレイヤーが共に学び、交流・連携する場と認識される取組を継続的に実施することで、イノベーションが創出され続ける仕組み(SENTANエコシステム)の構築を目指す。

○その他補助事業以外の取組

・豊田市つながる社会実証推進協議会との連携

スタートアップは資金だけでなく、実証できる環境、フィールドを求めるケースも増えており、先進技術を持つ企業やスタートアップ等との市内での実証実施をきっかけとしてSENTANエコシステムへの流入を促進する。

・とよたイノベーションセンター 中小企業支援コーディネーターとの連携

とよたイノベーションセンターで委託する中小企業支援コーディネーターは中小企業診断士の資格を保有し、製造業を中心とした市内相談支援先企業の情報を詳細に把握している。毎月実施するコーディネーター会議を中心にスタートアップ支援コーディネーターと連携することで双方のニーズとシーズを共有し、企業間連携に繋げる。

・ものづくりサポートセンター事業からの新たなプレイヤーの流入

中、高生を中心としたアントレプレナーシップ事業を実施しており、意欲の高い事業参加者をアクセラレータープログラム等新たなプレイヤー創出を目指す事業に繋げ、学生から社会人まで、シームレスな支援を実施する。

4. 重点テーマへの該当

重点テーマへの該当	無
-----------	---

5. 他の政策・施策等との連携状況

連携事項	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との戦略的な連携を図る事業	PFI法に基づく事業
	他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業	地域再生法に基づく事業
	特区制度に係る制度・規制改革を活用した、又は活用しようとする事業	スタートアップ支援に係る事業

6. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
---	---

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	市内製造品出荷額等に対する付加価値率	単位	%									
KPI②	新たな事業展開に取り組んでいるものづくり中小企業の割合	単位	%									
KPI③	イノベーション創出を目指す企業、団体等の数	単位	者									
KPI④		単位										
KPI⑤		単位										
KPI⑥		単位										
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	<p>KPI①は、本市の第9次総合計画の指標を設定。付加価値率は製品の強さのパラメーターであり、付加価値の割合増加に伴い利益が増加している状態となる。新事業展開やオープンイノベーションの促進による市内製造事業者の成長度合い、景気動向を測ることができる。 計測手法：経済構造実態調査、製造業事業所調査 目標値の根拠：第9次総合計画目標値 KPI②は、本市産業施策にかかる計画である「豊田市産業振興プラン2025-2029」の「参考指標」を設定。市独自アンケート調査である「ものづくり中小企業実態調査」を基にしており、毎年度実施し、その年度中に集計を実施するため、鮮度の良いデータを得ることができ、新規事業創出に取り組む事業者を把握することができる。 計測手法：ものづくり中小企業実態調査 目標値の根拠：豊田市産業振興プラン目標値 KPI③については、アクセラレーションプログラム参加者及びSENTAN登録者数の合計を「イノベーション創出を目指す企業、団体等の数」としてアウトプット目標を設定。コミュニティの形成や新たなプレイヤーの創出に向けた動きを把握することができる。 計測手法：各事業実績の集計 目標値の根拠：2023年度末SENTAN登録者数の実績値と増加数(10件/年程度)及びアクセラレータープログラムへの参加者数(5社/年)を加味し、25名/年の増加を目標として目標値を設定。</p>											
	事業開始前(現時点)	2025年度 増加分	2026年度 増加分	2027年度 増加分	2028年度 増加分	2029年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	KPI増加分の累計
KPI①	21.50	0.10	0.10	0.10								0.30
KPI②	32.80	0.20	2.00	2.00								4.20
KPI③	105.00	15.00	20.00	20.00								55.00
KPI④												0.00
KPI⑤												0.00
KPI⑥												0.00

8. 自立性

取組内容
 (事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)

本事業を通じ、行政の事業による新規事業やオープンイノベーション、スタートアップの創出のみならず、SENTANをHUBとして絶えず交流、連携が生まれるエコシステムを形成し、将来的に行政の事業規模、予算規模を縮小しても自発的にイノベーションが創出され続ける環境を整える。

自主財源の種類		自主財源の内容						
【A】	一般財源(市)	本事業実施のための委託費用等						
【B】								
【C】								
【D】								
【E】								
各年度における 自主財源見込額	事業開始前 (現時点)	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	2030年度 (6年目)	
【A】	11,083千円	52,479千円	73,679千円	81,079千円				
【B】								
【C】								
【D】								
【E】								
合計	11,083千円	52,479千円	73,679千円	81,079千円	0千円	0千円	0千円	
交付対象事業経費		52,479千円	73,679千円	81,079千円	0千円	0千円		
うちソフト事業費		52,479千円	73,679千円	81,079千円	0千円	0千円		
うち拠点整備事業費								
総事業費								

9. 地域の多様な主体の参画

区分	主体名	主な役割、意見及び改善方策への反映
産	豊田商工会議所	【役割】幅広い会員ネットワークを活かし、市内事業者を中心に会員からの意見集約及び事業周知を実施。 【意見・改善方策】最も現場に近い組織として、事業所ニーズを事業改善に繋げる。
官	豊田市	【役割】市事業の実施及び全体調整を実施。 【意見・改善方策】市総合戦略や産業振興プラン等、市施策の方針の反映と、事業実施する中で生まれる方向転換等を柔軟に検討し、目標達成を目指す。
学	豊田工業高等専門学校	【役割】アントレプレナーシップ、学内ピッチ等の実施による新たなプレイヤーの創出と企業との連携。 【意見・改善方策】学生・教育機関の求める産業振興施策についての意見、改善方法の提案。
金	豊田信用金庫	【役割】顧客である市内事業所に対し、融資、投資といった金銭面での支援及び事業周知の実施。 【意見・改善方策】市内事業所の状況を踏まえた産業振興施策への意見、改善方法の提案。
労		
言		
住民全般		

10. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

検証時期	毎年度 9 月
検証方法	SENTANエコシステム構築事業について検討・検証する会議体を構築
参画者	豊田商工会議所、豊田市、豊田工業高等専門学校、豊田信用金庫
検証結果の公表の方法	市HP等で公開予定

11. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略
愛知県豊田市	2021 年 4 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで 基本目標1:しごとづくり ※総合計画の策定に合わせ、現行総合戦略の期間を1年間短縮し、次期総合戦略を策定予	2025 年 4 月 1 日 から 2030 年 3 月 31 日 まで 基本目標1:しごとづくり(予定)

12. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称	
愛知県豊田市	豊田市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画	
	地域再生計画の区域	愛知県豊田市の全域
	計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2030 年 3 月 31 日 まで

(別紙1-1) ソフト事業経費内訳

2025.1.23

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	52,479千円	73,679千円	81,079千円	0千円	0千円	207,237千円
交付対象事業におけるソフト事業経費【②】	52,479千円	73,679千円	81,079千円	0千円	0千円	207,237千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費比率【③/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<2025年度(1年目)>

全事業期間における本年の位置付け		エコシステム構築に向け、SENTANの知名度向上及び新たなプレイヤーの掘り起こし					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025年4月	2026年3月	2024年10月	当初	年月		年月	
交付対象事業経費							52,479千円
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	4	計
					関連するKPI	①	
1	新規事業創出支援事業「SPARK」 新たな収益の構築を目指す市内企業に向けて、社内新規事業開発やオープンイノベーションによる新規事業開発を支援する。新規事業開発に向けたキックオフセミナー、新規事業の作り方を学ぶ事業創出アカデミーを経て、実際に新規事業に取り組む企業を選定し、伴走支援を実施。 委託費 22,479千円 事業創出アカデミー&ワークショップ(1年目)7,288千円 伴走支援の継続(2年目) 2,783千円 広報・PR・機運醸成・コミュニティ 2,145千円 その他事務費等 660千円 ≪オープンイノベーション≫(拡充分) プログラム全体の企画・運営 253千円 ホスト企業の募集 2,052千円 ホスト企業へのサポート 4,086千円 協業先企業の募集・フォロー 1,870千円 協業キックオフイベント 682千円 その他事務費等 660千円						22,479千円
	スタートアップ支援コーディネーターによる相談支援及びマッチング実施					関連するKPI	①②
2	「とよたイノベーションセンター」において、「スタートアップ支援コーディネーター」を設置。中小製造業での勤務経験や、自身でのスタートアップ起業、メンター経験もある人材を採用予定。STATION Aiに在席し、STATION Ai及び近隣のインキュベーション施設等とSENTANを繋ぎ、スタートアップ等の相談支援、企業間のマッチングを実施する。 コーディネーター委託費 5,000千円						5,000千円
	アクセラレータープログラム					関連するKPI	②
3	スタートアップ等の新たなプレイヤーの事業計画策定を支援するプログラムを提供し、VC等と資金調達のディスカッションができる状態を目標として、セミナーやワークショップ、個別メンタリングによる伴走支援を実施する。 委託費 10,000千円 アクセラレータープログラムの企画・運営 5,280千円 成果発表会の企画・運営 1,595千円 講師謝金、広告宣伝費等 2,200千円 その他経費 925千円						10,000千円
	(仮称)SENTAN定期イベント実施事業					関連するKPI	②
4	機運を高めるセミナーや、アイデアをブラッシュアップするピッチイベントなど、SENTANがHUBとなり、新たなプレイヤーが共に学び、交流・連携する場と認識される取組を継続的に実施する 委託費 15,000千円 月1イベント開催(セミナー、ワークショップ、成果発表会、交流会等) 1,150千円×12 13,800千円 コミュニティマネージャー人件費 100千円/月×12 1,200千円						15,000千円
	交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費 ³ ページ					要素事業数	0
							0千円

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		エコシステム構築事業への参加者流入の増加によるコミュニティ形成促進と補助金新設による自立性の強化					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026年4月	2027年3月	2025年10月		年月		年月	
交付対象事業経費							73,679千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	5	計	73,679千円
1	新規事業創出支援事業「SPARK」			関連するKPI	①		22,479千円
	<p>新たな収益の構築を目指す市内企業に向けて、社内新規事業開発やオープンイノベーションによる新規事業開発を支援する。新規事業開発に向けたキックオフセミナー、新規事業の作り方を学ぶ事業創出アカデミーを経て、実際に新規事業に取り組む企業を選定し、伴走支援を実施。</p> <p>委託費 22,479千円</p> <p>事業創出アカデミー&ワークショップ(1年目) 7,288千円 伴走支援の継続(2年目) 2,783千円 広報・PR・機運醸成・コミュニティ 2,145千円 その他事務費等 660千円</p> <p>《オープンイノベーション》(拡充分) プログラム全体の企画・運営 253千円 ホスト企業の募集 2,052千円 ホスト企業へのサポート 4,086千円 協業先企業の募集・フォロー 1,870千円 協業キックオフイベント 682千円 その他事務費等 660千円</p>						
2	スタートアップ支援コーディネーターによる相談支援及びマッチング実施			関連するKPI	①、②		5,000千円
	<p>「とよたイノベーションセンター」において、「スタートアップ支援コーディネーター」を設置。中小製造業での勤務経験や、自身でのスタートアップ起業、メンター経験もある人材を採用予定。STATION Aiに在席し、STATION Ai及び近隣のインキュベーション施設等とSENTANを繋ぎ、スタートアップ等の相談支援、企業間のマッチングを実施する。</p> <p>コーディネーター委託費 5,000千円</p>						
3	アクセラレータープログラム			関連するKPI	②		10,000千円
	<p>スタートアップ等の新たなプレイヤーの事業計画策定を支援するプログラムを提供し、VC等と資金調達のディスカッションができる状態を目標として、セミナーやワークショップ、個別メンタリングによる伴走支援を実施する。</p> <p>委託費 10,000千円</p> <p>アクセラレータープログラムの企画・運営 5,280千円 成果発表会の企画・運営 1,595千円 講師謝金、広告宣伝費等 2,200千円 その他経費 925千円</p>						
4	(仮称)SENTAN定期イベント実施事業			関連するKPI	②		16,200千円
	<p>機運を高めるセミナーや、アイデアをブラッシュアップするピッチイベントなど、SENTANがHUBとなり、新たなプレイヤーが共に学び、交流・連携する場と認識される取組を継続的に実施する。参加者にVCや金融機関を積極的に呼び込み、資金調達等への支援を促進すると共に、コミュニティマネージャーとしての活動を強化する。</p> <p>委託費 16,200千円 月1イベント開催(セミナー、ワークショップ、成果発表会、交流会等) 1,150千円×12 13,800千円 コミュニティマネージャー人件費 200千円/月×12 2,400千円</p>						
5	(仮称)スタートアップ・オープンイノベーション支援補助金			関連するKPI	①		20,000千円
	<p>市内で起業を目指すスタートアップの事業化や、オープンイノベーション等新規事業に取り組む市内企業に対し、事業費の一部を補助する。</p> <p>事業費 20,000千円</p>						
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費				要素事業数		計	0千円

全事業期間における本年の位置付け		コミュニティ同士の交流促進によるエコシステムの構築と新たなプレイヤーの事業化に向けた取組促進					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費							81,079千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	5	計	81,079千円
1	新規事業創出支援事業「SPARK」			関連するKPI	①		22,479千円
	<p>新たな収益の構築を目指す市内企業に向けて、社内新規事業開発やオープンイノベーションによる新規事業開発を支援する。新規事業開発に向けたキックオフセミナー、新規事業の作り方を学ぶ事業創出アカデミーを経て、実際に新規事業に取り組む企業を選定し、伴走支援を実施。</p> <p>委託費 22,479千円</p> <p>事業創出アカデミー&ワークショップ(1年目)7,288千円 伴走支援の継続(2年目) 2,783千円 広報・PR・機運醸成・コミュニティ 2,145千円 その他事務費等 660千円</p> <p>《オープンイノベーション》(拡充分) プログラム全体の企画・運営 253千円 ホスト企業の募集 2,052千円 ホスト企業へのサポート 4,086千円 協業先企業の募集・フォロー 1,870千円 協業キックオフイベント 682千円 その他事務費等 660千円</p>						
2	スタートアップ支援コーディネーターによる相談支援及びマッチング実施			関連するKPI	①、②		5,000千円
	<p>「とよたイノベーションセンター」において、「スタートアップ支援コーディネーター」を設置。中小製造業での勤務経験や、自身でのスタートアップ起業、メンター経験もある人材を採用予定。STATION Aiに在席し、STATION Ai及び近隣のインキュベーション施設等とSENTANを繋ぎ、スタートアップ等の相談支援、企業間のマッチングを実施する。</p> <p>コーディネーター委託費 5,000千円</p>						
3	ビジネスコンテスト			関連するKPI	②		15,000千円
	<p>スタートアップ等の新たなプレイヤーのビジネスモデルを発表し、優劣をつけるとともに、優勝者等にはインセンティブを与え、事業の飛躍及び販路の拡大を目指す。</p> <p>委託費 15,000千円</p> <p>ビジネスコンテストの企画・運営 10,000千円 審査員謝金、広告宣伝費等 4,200千円 その他経費 800千円</p>						
4	(仮称)SENTAN定期イベント実施事業			関連するKPI	②		18,600千円
	<p>機運を高めるセミナーや、アイデアをブラッシュアップするピッチイベントなど、SENTANがHUBとなり、新たなプレイヤーが共に学び、交流・連携する場と認識される取組を継続的に実施する。コミュニティ同士の交流を促進し、自発的なイノベーションの創出に繋げるコミュニティマネージャーの働きを強化する。</p> <p>委託費 18,600千円 月1イベント開催(セミナー、ワークショップ、成果発表会、交流会等) 1,150千円×12 13,800千円 コミュニティマネージャー人件費 400千円/月×12 4,800千円</p>						
5	(仮称)スタートアップ・オープンイノベーション支援補助金			関連するKPI	①		20,000千円
	<p>市内で起業を目指すスタートアップの事業化や、オープンイノベーション等新規事業に取り組む市内企業に対し、事業費の一部を補助する。</p> <p>事業費 20,000千円</p>						
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費				要素事業数		計	0千円